

全国初
公設民営のフリースクール
スマイルファクトリー
のあゆみ

特定非営利活動法人トイボックス代表理事
スマイルファクトリー校長
白井 智子



12年前より開設

公設民営フリースクール

池田市教育委員会からNPOへ委託



池田市立山の家



在籍校と連携して

不登校

ひきこもり

発達障害

どんな凸凹がある子どもも
社会的に自立できるようにサポート



なぜ学校に行けなくなる？
いじめ、トラブルの裏に・・・

学力困難
または
コミュニケーション困難

そこに発達障害が
からむケースが多い



その対応



異年齢集団の中での学習



体験学習を通じた コミュニケーション力の育成



農業体験



テレビ局見学



家庭科の重視 ＝「生きる力」の育成



適切なタイミングで 個別指導による学習を実施



最初はハードル低く
ありのままを受容

= 信頼関係をつくる



社会性を育てるため
サポートしつつハードルを上げる



在籍校、親からの相談→

家庭訪問→

スマイルファクトリーでマンツーマン対応→

10～30人の小集団の中での学習

(子ども4～5人に大人1人を配置)→

進路指導・在籍校との連携、関係の紡ぎ直し→

在籍校への復帰高校、大学、専門学校への進学

中間的就労施設・就職

ニート・ひきこもり状態をつくらない



課題



子どもの貧困との関係性

受益者負担では
運営できない

年間 のべ約3000件のスクーリング
のべ約7000件の相談・訪問

現状、予算(特に人件費)が不足
受け入れ枠が足りない



課題

原籍校に籍を残しつつフリースクールに通う現状

- ・フリースクールの出席認定は原籍校の校長判断による
 - ・フリースクール近隣の学校だけ不登校率が上昇
 - ・原籍校への帰属意識がなく原籍校側が対応に苦慮



2014年末、政府と文部科学省が歴史的な転換

池田市とスマイルファクトリー
は先進的なモデルケースに



課題を抱えた子どもに
必要かつ適切な教育を

いかに保障するか



これからの取り組み



地域とのつながりの中で
切れ目のない関係性の中で
子どもからお年寄りまでを
サポートすることが必要な時代に

人口減、高齢化が課題の伏尾台地域にて
旧・伏尾台小学校を
まちづくりの拠点に



